

26年

2月

定例会報告  
第2号

# 遠藤ひろし

## 県政発展と地域振興

### 県議会報告



ごあいさつ

市川三郷町にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般の豪雪に際し被害に遭われました方々に対しお見舞い申し上げます。一日も早く復旧し日常が取り戻せますよう取り組みます。



2014/02/27

とうもろこし「甘々娘」の被害状況を視察

また、一般質問に初登壇し多くの皆様に傍聴していただきましたことに御礼申し上げます。予算特別委員会、総務委員会など広く議会活動に傾注できます事は、広く皆様方のご理解があればこそだと思います、一層、意を強くしたところでございます。

今後とも、「県政発展と地域振興」に向け全力で取り組んで参りますので、ご理解とご指導賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

#### ●第2回議会報告会

平成26年3月29日(土)

午後4時～ つむぎの湯

午後6時～ JA西八代2階会議室

遠藤浩事務所  
市川三郷町市川大門1568-1  
☎/FAX 055-272-0330

# 山梨県議会雪害対策本部



県政発展と地域振興  
**遠藤ひろし**

県政発展と地域振興

観測史上最大となる今般の豪雪は、県内各地で災害救助法の適応となるなど甚大な被害となりました。遠藤ひろしは、町内の状況を把握するとともに県議会との連絡を密に行動しました。県議会雪害対策本部が発足されると、県内JAグループの要請を県議会へ取り次ぎ、市川三郷町、JA西八代等の要望を取りまとめ課題克服に向け取り組んでいます。



JAグループからの要請は、  
○激甚災害指定への働きかけ、  
○農業施設等への財政措置など7項目。町から  
○農家への援助、○雪捨て場の問題など6項目の要請・要望



を承っています。

一方、県議会雪害対策本部は、県執行機関の対応について調査しました。また、被害状況を把握するため遠藤ひろしの所属する自民

党・県民クラブとフォーラム未来の議員からなる調査団を結成し県内8地域の被害状況調査を行い、農家や農協、市町長などからご説明頂き議会へ速やかに反映いたしました。

議会においては、追加議案として早急に雪害対応に関わる予算議案を全会一致で可決し、被災した農家や事業者の再建に向け踏み出したところでございます。





一般質問のようす 平成26年2月26日

## 1. リニア新幹線の観光活用

高台にある「みたまの湯」などからは、疾走するリニアの雄姿を眺める事ができる可能性はある。観光資源として活用し開発すべきだと思いがいかかか。

本県の豊かな地域資源を活用した様々な観光振興策をしつかりと考えていくことが、重要である。明かり区間の観光活用は、市町村などとその可能性を検討したいと考える。

## 2. 外国人観光客の受け入れ

### (1) 生活習慣等への対応

明年度は、より実践的な受け入れ環境についての研修を重ね、食材の表示方法などについても、研究したいと考える。

### (2) 道路案内標識の英語表記

今後、対象地域を県内全域に広げ、3年間を用途に、英語表記の改善を完了し、外国人観光客が安心して快適に、県内を旅行できる環境づくりに取り組み。

## 3. エネルギーの地産地消

### (1) 住宅用太陽光発電の普及

新たな補助制度などを通じて、これまで以上に住宅用太陽光発電の普及を進めていく。

## (2) 水力発電の推進

明年度は、2カ所の小水力発電所の建設を進め支援するとともに、県自らも積極的に開発を推進することにより、エネルギーの地産地消の実現に向けて取り組む。

## 4. 芦川の河川改修

芦川は、地域住民と関わりの深い自然豊かな河川であるが豪雨の際は、大きな被害が懸念される。親水性に配慮して滞りなく取り組むべき。

自然環境の保全や利水機能の確保に努め、階段護岸を設置するなど、身近な水辺空間となるよう配慮する。明年度からは、河床掘削等の工事に着手する予定で、地域の皆様の御協力をいただき、早期に安全が確保できるよう、積極的に事業を進める。

## 5. 森林資源の活用

峡南地域は森林資源が豊富だが、資源を活用して事業者連携や製品開発に取り組み地域活性を導くべきだが、その支援についてうかがう。

国の森林総合研究所の指導・助言も受けながら、他産業と連携し、消費者ニーズに応じた木製品の開発・加工・販売など、新たな事業機会の創出に取り組む。

## 6. 峡南医療センター

地域医療再生計画において4月に開院する「峡南医療センター」だが、開院に向けた取り組みと医師確保についての所見をうかがう。

地域内において急性期から慢性期、在宅医療の支援に至る切れ目のない医療を提供する地域完結型医療の実現を図る。医師としてのキャリア形成を行う研修プログラムを開発・実施することにより、開院後においても、医師確保への支援を行う。

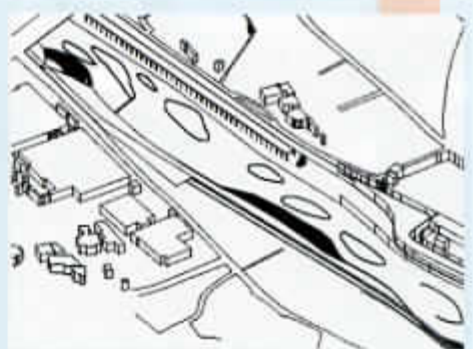
## 7. 峡南地域の高校再編整備

県立高校の再編整備は、峡南地域を残すのみとなった。生徒の事を第一に考え地域の理解を得る事が重要だが、説明会の状況と今後の対応はどうか。

説明会では、基本的な考えを示した上で、徒数の動向などの状況を説明した。厳しい現状については、理解をいただいたものと認識している。魅力と活力ある高校づくりに向け、峡南地域の現状と再編整備の必要性について、理解を求めたいと考える。

注) 発言の詳細については、

県議会または遠藤ひろしホームページなどでご確認ください。



慶応義塾大学の学生によって提案された芦川の親水性ある空間「親しみある水辺」